

第八期 第7回 np.広告学校 講義録

【小霜クラス オキュラスリフト】③

(注・受講生の表現案に使用されている画像は基本的にネット上のフリーのものや自分たちで撮影したのですが、もし著作権・肖像権などで問題あるものがございましたら contact@nopproblem.co.jp までご連絡ください。)

◆日時

2015年6月22日

◆出席者

燃えるゴミ、おしめりおねえさん、袋とじ、カパコ、命の母、バクテリア

脇毛舐め、結婚相談所、講義録、我慢汁、疲労骨折、ケツアゴ、カワハギ、ほげ生徒14名

(女性6名・男性8名) +小霜

小霜：わりといいんじゃないかなあと、全体的にね。ほぼB案ぽくなっているなど。ただ、これBというよりは、Aじゃねえ？もうちょっとぶつとんでもいいんじゃないかみたいなものもいくつかあった。もう順不同でだーつと見せていくと、

【燃えるゴミの表現案】

オキュラスリフト



小霜：これはつまらないなど。オキュラス買って、家で体験しようと思って喜んで走って帰ってるっていう。そうだよな？表現としてはありきたりだし、何のことかわからなさすぎ。

2016年、

生ライブ



ライブDVD



ここ。

圧倒的没入感。



小霜：これ交わってるとこっていう意味だよな、ちょっと没入ということにはならないかなと。

【袋綴じの表現案】



ライブに入り込もう

映像を360°で体験。



クリエイティブ01

小霜：これはねえ、何かあるなって気がしたんだよなあ。いやその一、このオキュラスのまわりにね、この人の脳内空間こうなってますよ的な感じを象徴するビジュアルとして、こういうものがある種のトレードマークじゃないけどさ、汎用性のあるビジュアルアイコンになりそうと思ったんだよね。そういう意味で、なんかこれあるなあって気がしましたと。



映像を360°で体験。



小霜：これはないなと。なんでないか分かるよね。なんでないかむしろわかんないひといろ？

袋綴じ：はい。

小霜：じゃあわかる人。だって彼女以外わかるんじゃない？

カバコ：オキュラスである必要がないから。

小霜：そうだね。別にライブ行ったって、推しメンだけ見てればいいじゃない。だからこれはないと。

【おしめりおねえさんの表現案】



np.school 8期 小霜クラス③「Oculus Rift」表現

小霜：これはBというよりは前回やったAにほとんど近いなと。そこに入りこむ表現いっぱいあったけど。それとそんな変わらないかんじがする。BというよりはA'だなと。

2015/06/22

np.school 8期 小霜クラス③ 「Oculus Rift」表現

小霜：これはA'ではないんだけど、ないなと思うわけよ。なんでないか分かる？

我慢汁：楽しいものなのに標識なんで、楽しいかんじが削がれてる感じがする。

小霜：広告は正しくぱっと連想されなければいけない。

なんていうんだろな、まあね、そういうことなんだけどね。これ見て、ライブだって連想する人いないとおもっわけよ。広告表現でね、不動産の広告ってぱっと見てわかるじゃない。化粧品の広告みたら化粧品の広告でわかるわけじゃない。不動産の広告なのに、あ、携帯の広告かって思われちゃったら、そこでも興味失っちゃうわけよね、ターゲットは。これはこういうカテゴリーのもんならって正しくぱっと連

想させるものじゃないといけないわけよ。で、これを見てライブ映像の、ライブに没入する体験が楽しめるんだなってわかる人はおそらくいないと思う。だからこういう表現は、考えるのは全然良くて、考えた人がだめっていつてるわけではない。こういうの考える姿勢はいいと思うんだよね。でも結果のアウトプットとしては、やっぱりこれはないかなという話。

【ほげの表現案】



オキュラスリフト表現案B案

小霜：これ意味わかんなかったんだけど説明してくんない？

ほげ：はい。その浮いてる青いものなんですけど、バーチャル空間の人みたいなイメージで。その現実のライブ会場にはいないんですけど家で見てる人。

小霜：これがたくさんの観客だと。

ほげ：そうです、それぞれが家にいて。

小霜：なんで浮いてるの？

ほげ：それは、そういう立体映像みたいな。

小霜：だってこれ観客でしょ？

ほげ：はい。

小霜：観客が浮いててどうすんの。

ほげ：意味わからないですね。

小霜：だよ、こういうむちゃくちゃなのはダメよ。理屈で説明できないものはだめ。これどういう意味？って言われて、ロジックで説明できないものはダメ。なんとなく雰囲気で行ってみましたみたいなことをやってたら、いつになっても成長しないんだよ。



オキュラスリフトB案2

小霜：逆にこれは意味わかりすぎるくらいわかる。わかるけど、あまり惹かれないね。自宅でくつろぎながらライブの熱気が体験できるよって言われてもあまり楽しそうに感じないんじゃないかなという気がする。ライブの熱気そのものって言いたいの、自宅の落ち着きって言われちゃうと、なんかすごくつまらないものに思えちゃう気がするんだよね。君の場合、さっきのはロジックがデタラメなんだよね。逆にこっちは感覚的に楽しそうっていうことになっていない。そこのバランスがよくないかなって感じがする。

【結婚相談所の表現案】



小霜：これね、俺意味がわからないんだけど。

結婚相談所：LINE をするといろんなメッセージが来てそれに返したりすると思うんですけど、それを忘れる位没頭できるっていうことを表現しました。これは「後からなんで連絡してくれなかったの」って言われて、オキュラス見ていた人がこれを言っている、という。

小霜：うーん、ちょっと遠回りかなやっぱ。いや別に、オキュラスじゃなくていいじゃない。

結婚相談所：オキュラスじゃないと、メール通知や電話をとれてしまうと思ったんです。オキュラスだと視界も聴覚も全部ふさがっているから、電話が掛かってこようがメールが来ようが、気づかない。

小霜：あ、そういう意味か。閉鎖されちゃうからね。

結婚相談所：っていうそれもあるし、没入というところがあって、ていう風にしようと思ったんですけど

小霜：パズル発想の広告はリスクが伴う。

ただね、その発想は結構危険で、そういう発想のことをパズル発想で僕は呼んでるんだけどさ。見る人はわかんないわけよ結局。やっぱり瞬時に直感的にどういう風なイメージを届けるのかっていうことが大事だから。実はこういう意味なんですよっていうやり方は結構リスク。まあうまくやればないことはないけどね。ああそういうことかみたいなの。一瞬わかんないけど次の瞬間に、あ、そうか〜という膝打ちがあってそれが面白いってなればね、パズルはあるんだけど、そこまでいかなければ危険。



小霜：単純にはまってるってことだね。まあわりかしよくある表現かな。



小霜：俺これはねえなんか感じるものがあったんだよね。ただ、キャッチコピーがもうちょっとなんとかなんねえかなと思ったわけよ。わりかしさ、そのまんまじゃん。アフロが邪魔になることはありませんというさ。なんていうんだろう、まんまの文だからさ、もうちょっとコピーぽくできないかなあって思ったんだけど、どんなコピーだったらよくなるかねえ。こんなコピーだったらもっと面白いんじゃないかみたいなのあるかな。

脇毛舐め：アフロを坊主に。

小霜：なんでアフロじゃいけないの？

脇毛舐め：アフロじゃ見えないということですよ。坊主だと見えますよという。

小霜：オキュラスだったら坊主の人が前にいるの？

脇毛舐め：というわけではないですね。

小霜：じゃあダメじゃないの？コピーといえばね、なんかひねるものと思うじゃない。ただひねり方で間違える人多いわけよ。今のは間違えたひねり。これでアフロを坊主にとってあってさ、多分ほとんどの人が理解不能だよ。何言いたいんだろうってなっちゃう。

バクテリア：アフロに邪魔されず、ライブを楽しみたい人へ。

小霜：もっとわかりやすくということ？あんまり変わらないかな。

カバコ：君のアフロは僕の視界を妨げられない。

小霜：それなら「もう」を付けるべきだね。君のアフロは「もう」妨げられないって。もう、を付けるとオキュラスがあるおかげでっていう意味になるよね。

袋綴じ：見えない。

小霜：あーなるほどね。通常のライブだったら見えないと。それは結構いい。
見えない、あるいは見えねえよ！とかね、オキュラスでライブを楽しもうよっていうね。

結婚相談所：これだけでいいですよ。（「アフロが、」を隠して）

小霜：そうだね、「ということはありません」も必要なくって、たとえば「邪魔！」だけの方がすっきりするよね。

講義録：背伸び卒業。

小霜：それはねダメなひねり。わからない。あのね、なんでそれダメなのかわかる？

ケツアゴ：オキユラスである必要はなくて、厚底でもいいみたいな。

小霜：そういうことじゃなくてね、言葉っていうのはいろんな意味があるわけだけど、例えば背伸びっていったら物理的なことだけじゃなくて、大人になりたいとか無理をするっていう意味もあるじゃない。でね、卒業っていうと、あるものにはまっていたけども、もっと上のものに手をだす、分かるようになる、みたいな意味もあるじゃない。背伸び卒業って言われると、無理して手の届かないところのものを手に入れようとしてたのをやめようとしたのかなみたいな、全く違う意味を連想させちゃうわけよ。

君がやろうとしたひねりっていうのは、全然違う連想をさせてしまうからダメなの。それ言うんだったら「もう背伸びする必要はありません」っていった方がいいわけ。だったら、ああアフロがあるから背伸びして見なきゃいけないんだな、ということが伝わるよね。その方が絶対いいわけ。なのにコピーだからって卒業とか違う言葉を持ってこようとする。で、わけわかんないとなる。

我慢汁：チケット代返せ。

小霜：チケット代返せかあ。それはよくないよね。意識がオキユラスから離れちゃうからね。お金のことかな、と。

バクテリア：アフロの先が見たい。

小霜：ちょっとまんまかな。平たすぎるかな。アフロの先がみたいって言葉として冷めてるじゃん。

邪魔！とか見えねえよ！とか、「こいつさえいなければ・・・」という気持ちが伝わるでしょ？で、アフロの先が見たいっていったら、そんなに見たい感じがしないよね。こいつが嫌なんだ！みたいな意味としてはちょっと落ちるよね。

バクテリア：アフロ禁制。男子禁制みたいな。

小霜：それもダメなひねり。禁制っていうのは、これは持ち込んじゃいけません。てことだよな。

持ちこんじゃいけないと、オキユラスとどう関係があるのかわからなくなっちゃう。

言葉を選ぶときに適当に選ぶっていうことを絶対にしてはいけない、コピーライターは。俺よくね、バカの法則っていうんだけど、バカっていういろんな意味があるわけよ。頭が悪いっていう意味もあるけど、私あなたにゾッコンですっていう意味もあるじゃない。愛してるっていうことにもなるよね。軽蔑もあれば凄いヤツ、にもなるわけよ。偉大なヤツっていう意味にもなる。それって文脈によって変わってくるわけ。卒業とか禁制とか、ここに入れちゃうと、それは全然違う文脈になるから使っちゃいけないんだよ。

おしめりおねえさん：イケメンバンドなんですけど～！

小霜：とくにキャッチフレーズの場合、実際のライブ会場である共感をつくっていく事が大事。

それもよくない。バンドに意識がいっちゃって遠ざかっちゃう、興味がね。なるべくやっぱりオキュラスに一直線にいく言葉じゃないといけない。

こういう時は大げさに言うってやり方があるよね。たとえば「オキュラスはアフロ問題を解決します」みたいなね。アフロ問題っていうと世の中全ての人が実際のライブ会場で困っていることだってなるじゃない。こうやって見るとチンケな感じだけどものすごく社会の問題のように言うとかね。そういう手もある。でも「邪魔！」という一発も、わかる！となるだろうしそういうのもいいと思う。いずれにしても実際にライブ会場行くとこういうことあるよね～、これ嫌なんだよね～！というそういう共感をつくっていくことが大事、キャッチフレーズの場合はね。

【カパコの表現案】



小霜：意外とあるかなあ。悪くない。オキュラスっていうものが自分の場所をいろんな場所に変えるんだっていう発想は新しいかもね、この部屋をエベレストに変えましょうとかね。この部屋を南仏の海岸に変えましょうとか。この部屋を100年戦争の戦場に変えましょうとか。場所を変える機械だっという視点はあるかなっていう気がした。



み、見えそう、

現実を超える現実
オキュラスリフト



小霜：これあるかなって思ったんだよな。まあおもしろいよね。何で俺いいかなって思った理由わかる？

バクテリア：パンツがみたい。私もこれ見て、見たいなって思います。

一同：（笑）

小霜：パンツが見たいから俺がこれ見て良いと思ったって言うわけ？（笑）
広告表現としてね、これはわりかしいかなって思った理由は何かって。

講義録：人の欲に訴えかける。

小霜：ちょっと違うな。

ケツアゴ：オキュラスだからこそ見えそうっていうことが出来るから。

小霜：別にライブ会場でもできるよね。

バクテリア：オキュラスでライブを見てる様子が楽しそうに思える。

小霜：まあ違うなちょっと。え、わかんない？

おしめりおねえさん：共感できる。

小霜：あのね、リアルってことだと思う。つまりオキュラスって没入体験をさせるわけだよね。ライブ会場にいる奴ならやっぱり気になると思うんだよね、ちょっと見えそうだなみたいな。そういうリアルが伝わると思うわけ。ああライブ会場のあの感じね〜！と、リアル感を伝える表現として優れているんじゃないかなと思ったということ。

A案はライブ会場のビジュアルを持ってきたよね。それってわりと概念だよね。まだ概念であってリアルではないわけよ。で、ライブ会場のリアルってなんやねんという時にここまでリアルですよっていう表現にこれは達してるかなと、そういう意味で表現できてるかなと。

【バクテリアの表現案】



小霜：これは前回と変わらないね、A'でなく A。



小霜：これもA'だね。前回と変わらない。



小霜：これなんではにわがオキュラスしてるのかわかんないんだけど、説明してくれない？

バクテリア：私が面白いって思うツボが、原始人とかはにわとかそういうもの見ると笑っちゃうんで、はにわがオキュラス付けてる姿を想像したら一晩中笑えたので書きました。

小霜：多分それ君だけかもしないね。

バクテリア：そんな気がしました。



小霜：なんで部族なの？

バクテリア：部族見ると笑いがとまらないので

小霜：君がやろうとしていることはアートだよ。自分だけ面白くても、自分だけ面白いビジュアルは自分の部屋に貼っておけばよくて、表に出さなくていいわけよ。自分が笑えて、あるいは自分が意味がわかってても他の人も意味がわからないと広告にならない。これ理屈でいえる？言えないものは作っちゃダメ。これはこうだから今日本に住んでる人たちはオキュラス買おうってなるんですっていう理屈がなければダメ。それがなかったら、このピンクの色がいいから（机の色を差して）ピンクをビジュアルにしてオキュラス置きました、俺はこれに感じてます、っていったら何でも通用するってなっちゃうよね。

【命の母の表現案】



小霜：ちょっとおとなしいというかあたりまえな感じなんだよなあ。もうちょっと違う視点にチャレンジしてほしいなと。B案だからね。



自宅に居ながら、LIVE体験。Oculus Rift

小霜：これもわかりかしありきたりというか。

オキュラスに比べたら、ブルーレイなんて「足湯」だわ。



小霜：これ俺ちょっと感じるものがあったんだよなあ。なるほどなあ。オキュラスは温泉だと、ブルーレイは足湯だと。その発想は俺の中になかったなって。これはB案だね。発想として面白いなあと思った。

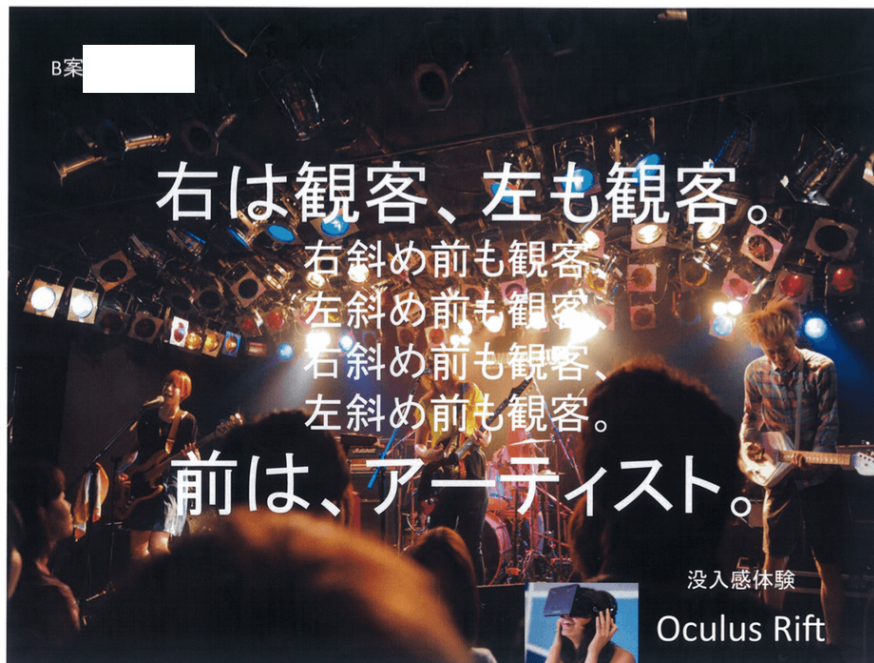


小霜：これはちょっと綺麗すぎるかな。さっきもあったけどライブの熱気をくつろいで、みたい。座ってみることにそんな価値感ないじゃない。座ったままで観れるんだ、それは良いや！ってならないよね。

命の母：若い頃よりライブに行くことが離れてるって考えたときに、40代50代ってライブするようなライブって、最初から最後までは疲れそうな感じみたいのがあって、その層に向けて。ストーンズだったりとかその世代は、観たいけど、、、というターゲットを考えて。

小霜：それはわかる。俺もいちいち立つなよって思う。スタンディングっていうのは「この演奏は見事！」で時に立つ、それ以外は座るみたいなのが正しいんじゃないかなって思ってるんだけど。最初から最後まで立ちっぱなしで、アーティストが立てて言ったりするじゃない？それって外道だと俺は思ってるんで。でもこの言い方だとそれは伝わらないよね。「オールスタンディングに付き合いきれない40代のあなたへ。」そこまで書かないとわからないと思う。大事なことは君はレトリックを優先してるわけよ。オールスタンディング、オールシットングっていう対比でやるといいだろうと思ってるんだけど、別にそんなことやったってちっともよくないわけ。40代50代で立ちっぱなしのライブは勘弁だぜっていう人たちに対して、きっちり伝えるっていうことをやったほうがよかったと思うね。「オールスタンディングのライブはもう勘弁!」、そういうキャッチでもいいと思うのよ。ここにいる人が年配の人だって分かればね。

【疲労骨折の表現案】



小霜：これは明らかによくないかなあ。なんでよくないか。

バクテリア：ライブに行っても、右は客席だし左も客席だし前はアーティスト。

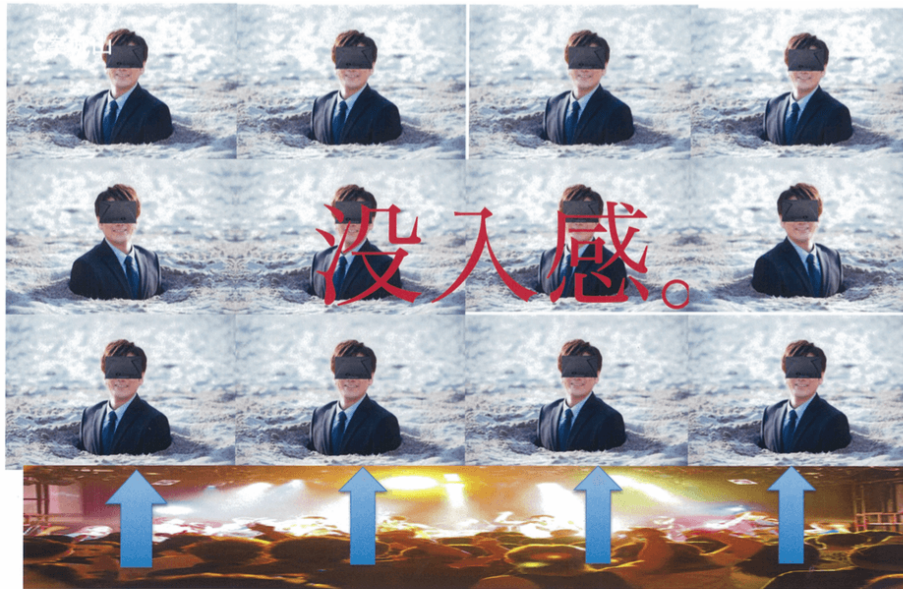
小霜：まあそれもある。

我慢汁：同じことしか言ってない。

小霜：うん。他に

ケツアゴ：周りに客がいることが嬉しいとか楽しいとか思わない。

小霜：そういうことだよ。別に周りに客がいることが何が楽しいんだという話。もちろんね、没入感ということを用いて、右も左もちゃんと人がいて周り中に観客がいるよというのは表現として正確かもしれない。でも、広告って印象だからパッとみて窮屈でやだな、っていうそんな感覚を受けちゃうと思うんだよ。没入感すごいぞと感じる前に、なんかやだな、っていうのが先に来ちゃう。それはよくないと思うんだよ。



映像を映像体験に変える



小霜：これ、意味がわからなかったんだけど、ビジュアルが。矢印とかの意味はなんなんだろう。

疲労骨折：下がライブ会場になってまして、ジャンプしたら突き抜けてしまうほどの、という意味でその矢印になってまして、その人たちは地面に埋まってるビジュアルなんですけどそれも没入感と掛けて、という感じで。

小霜：こういうのはさっき言ったパズル発想というのよ。君以外は分からない。これどういう意味なんだろうと思った瞬間、そのパズルを解こうっていう風に人は行ってくれないからね。意味わかんないで通りすぎちゃう。同じ没入感を言うんだったら、こっち（命の母案(3)）の方がブルーレイなんて足湯だわっていう発見もあっていいと思うんだよ。なんだろう、多分これ思いつきをそのまま、絵にしてるだけだと思うんだよ俺。そんなに深く考えてないと思う、君はね。

やっぱりあれ（命の母案(3)）は結構深く考えてると思うんだよ俺。そこの考える分量の差がすごくあると思うんだよ。思いつきでべろんとやっても、それは自分以外の人がわかるという風にはなかなかならない。

【脇毛舐めの表現案】

150622 小霜クラス「Oculus Lift」



小霜：これはちょっとダメだね。意味がわからないしなあ。なんでよくないか理由を言える人？

結婚相談所：おばあちゃん家に行く必要がない。

小霜：うん。おばあちゃん何も関係ないもんね。いや、自宅で夏フェスならわかるよね。素直に言えばね。それはA案なわけだけでも、自宅で夏フェスを、Bだからひねろうと思って、おばあちゃん家にしたってことなんだけど、それは完全にひねり方の間違い。そんなことやったって、なんでおばあちゃん家で夏フェスやるということがあるの？てことになる。

150622 小霜クラス「Oculus Lift」



小霜：これはまあA'だね。前回とそんなに差がないと。

150622 小霜クラス「Oculus Rift」



小霜：これもキャッチフレーズはダメだね。何故ダメか。

おしめりおねえさん：瞳孔は何を見ても開いてる。

小霜：そうだよね、ライブ会場でもどこでも開いてんじゃん。だから、別にオキュラスリフトのコピーにはならないよねと。

【総長の表現案】

B案

2015年6月22日



小霜：これ意味がわかんないわけよ全く。あ、今日いないんだ。



小霜：これはダメだよな、理由はわかる？

カバコ：嘘書いてるから。

小霜：そう、嘘だよな。実際にこうだったらいいと思うのよ。実際になんらかの理由があって、例えばダンスの深夜の営業は禁止されたとかさ、ルールが変わって主要ライブ会場とかが改修しなきゃいけないと。例えば消防法の改正があって全部改修しないと営業出来なくなったみたいなことよね。一斉に主要ライブ会場が改修工事に入ることがあったとするじゃない。そしたらそこに乗っかって、復帰までお待ちくださいっていうのはあると思うわけね。でもそういうことが無いのに、こういう事を書くと、これはもう詐欺になっちゃうよね。

ケツアゴ：一応今年だか来年だかにオリンピックに備えて大型のアリーナとか、わりとタイミングと一緒に改修しちゃうみたいなニュースがあったと思うんですけど、たしかですけど横浜アリーナとかそういうところが、偶然今年か来年に全部一年にかぶっちゃって。

小霜：それってオリンピックの競技会場になるようなところでしょ？

ケツアゴ：そうですね多分。

小霜：そうだよな。つまり逆になってるわけよね。東京ドームっていうのはもともと野球場だよな。だからスポーツ会場をコンサート会場に使ってるって話じゃない。武道館だってスポーツの競技会場なわけ。だからそういうスポーツの競技会場でコンサート会場に使われているでかい所がオリンピックに合わせて改修す

るよっていう話じゃない今のはさ。これはコンサート会場が、って書いてるから。コンサート会場はオリンピックとは関係無いと思うよ。

結婚相談所：こういうことですかね。（ニュース記事をスマホで見せる）

小霜：なんでこうなってるんだろじゃあ。国際フォーラムが改修っていうのよくわかんないね。

結婚相談所：2020年東京五輪会場工事を2016年問題と言っているみたいな...

小霜：あ、そうなんだ。じゃあこれは正しい事言っているのかな。

結婚相談所：日本中全ての主要がっていうことではないですけど。

小霜：まあ「関東の」だな。

結婚相談所：そうですね

小霜：事実だとしたらこれはあると思うわ。そういう事象に乗っかっていう方向性はあると思う。

カバコ：じゃあ因果関係を逆にして、20xx年、オキュラスリフトのせいで主要ライブ会場が廃止に追い込まれるでしょう、みたいなことは。

小霜：うーん。どう思う？オキュラスの登場でコンサート会場ライブ会場の多くが廃止に追い込まれるでしょうという、キャッチコピーについて。どう思う？意見。

バクテリア：困りますよね。

小霜：困る？

バクテリア：困ります。なんでもないです。。。

一同：（笑）

小霜：いやいや、君が困るかどうかを聞いているんじゃないで。そういう広告表現をどう評価するか。

講義録：そういう面とはちょっと外れるかもしれないんですけど、ライブ会場が廃止されたらそもそもオキュラスリフトは無くなるので、ありえないかなと思いました。

小霜：ありえないと。なるほどね。

ケツアゴ：ありえないと近いかもしれないんですけど、そのコピーだったり表現っていうのはちょっと信じられないかなとは思いました。嘘つけていうか。

小霜：言い過ぎだということだよ。他には。

袋綴じ：ライブの方が好きな人は、オキュラスリフトのせいでライブが無くなるって思ったらマイナスなイメージを持ちそう。

小霜：マイナスなイメージを持ちそう。他には？

結婚相談所：潰れたらオキュラスリフトを見ようかな、実際そういう時になったらはじめてオキュラスリフトを見ようかな、今はライブ会場があるからそこに行けばいいや。と。

小霜：それは良い意味で？

結婚相談所：いや、良い意味ではないですね。今はオキュラスいいじゃん、という。本当にライブ会場が潰れちゃったら使おうかと。今は潰れてないからオキュラスリフト見なくていいや。っていう風に捉えちゃう。

小霜：ああ、そういうことね。なるほど。

カバコ：人を傷付けるというか、他人に害を及ぼすのはよくない。

小霜：そうだよ。嫌なものに感じると思う。単純にね。これが登場することで誰かが困るとかね。やっぱりそういうものって良い印象を抱かないじゃない。出来るだけ共存共栄したいじゃない。

まあ現実にはね、厳しいものがあるとしても、こいつをいじめてやるぞとかこいつを世の中から駆逐してやるぞみたいな、そういう宣言を聞いて良い印象は抱かないよね。いやわかんないよ？むしろね、オキュラスで初めてライブ体験をすることで、「ライブ、良いな〜！」と思ってそこからライブ会場行ってみようかなっていう人は現れるかもしれないよね。もしかしたら別にオキュラスとライブ会場どっちに行くかって話じゃなくって、オキュラスのライブ映像が普及すると同時に、ライブに行く人口も増えるってことだってありえるよね。むしろそうなった方がオキュラス良いことしたねってなるんじゃない。オキュラスの

おかげで今ライブ熱に火が付いて、どのライブ会場も潤ってます、満席状態ですって言われた方が得じゃない。世の中にとって良いことしてるねってイメージになるよね。

おしめりおねえさん：「ブルーレイなんて足湯だわ」っていうのは・・・

小霜：ブルーレイはいじめていいんじゃない。

一同：（笑）

小霜：モノだし。所詮ね。

命の母：ライバル関係にあるものっていうと、さっきの話で言うと、ライブっていうものはライバルって考えたときに、そこに噛み付くというか大きな嘘を付いて茶化しつつ噛み付くような構成になると思うんです。例えばペプシが強いヤツを倒す、でコーラをイメージさせるとかっていうのも、大きいものに噛み付く分には、まだ何か愛される余地があるかなって思ったんですけど..

小霜：まあそうだね。でもライブ会場コンサート会場っていうのはそんなに巨人ではないと思うんだよね。ていうか音楽業界って今瀕死状態にあるわけよ。CDが全く売れない。で、どうやって食ってるかっていったらライブで食ってるわけよね。ライブやって、そこで物販して毎回毎回色んなデザインのTシャツを買ってもらって。そこで稼いでるっていう実態があるわけよね。そういう人たちからライブまで取りあげるっていうことをやるとね、もう音楽やってる人たちに死ねって言ってるのと同じになっちゃうっていうことよね。

命の母：商品というよりどちらかというそういう祭というかみんなが共有してる楽しみとか、お祭り騒ぎみたいなことを否定するっていうのはやっぱり嫌われるというか、そういう感じはありますね。

小霜：うん。人をいじめてるっていう感覚のものは嫌われると思う。いや、僕は正直ペプシの表現もそんな好きではないわけ。コークのことを鬼だっていってるのよ、あれ。競合関係でもどこかリスペクトがあってほしいと思うし、まあ鬼というよりもモンスターということで許されるってところもあると思うんだけど、でもやっぱり競合のことを怪物とか鬼とか、人に害をなすものに喩えるのはどうかな〜って感じはする。でもそこに行き着く前にね、映像が凄いなとかかっこいいね、みたいところでみんなの意識が止まっちゃってたからね、むしろよかったのかもしれないというか。強いものを倒せっていうことで、これってコークのこと言ってるんだよね、まで行かなかったからさ。でも深く考えたら...う〜ん。ただそれはプロとしての感覚であって一般の人はそこまで思わないだろうけどね。



小霜：これはダメ。ダメな理由は。

おしめりおねえさん：ライブコンテンツってわからない。

小霜：そうそう。別世界って意味が広いじゃない。ライブの没入感っていうのはこのキャッチコピーからは連想できないよね。

【我慢汁の表現案】



小霜：僕ね、これは感じるものがあるんだよね。これはちょっとあるなと思ったわけ。いや、目の前に広がる映像体験って書いてるんだけど、本当に自分の目の前でっていうことをわかりし愚直にというかね、ストレ

ートに表現したってことだと思うんだけど、意外に他の人が気づかなかった表現の仕方になって思ったんで。これは1つ面白いなあと。思いました。

案



小霜：これはちょっと理屈っぽいかなあ。なんというかエンターテインメントじゃない。素材がね。やっぱエンターテインメントのものって、なんか楽しそうだ！とかがパツと感覚できた方がいいと思うんだけどね。そういうこと言うとA案は非常に感覚的じゃない。それはいいと思うわけよ。なんかよくわかんないけど凄そうだぞって感じはするよね。で、これは考えさせちゃうじゃん。どうということ？て考えさせちゃった瞬間、勢いが止まるっていうかさ。楽しい感じ、興奮度が削がれちゃうっていうのはあると思うんだよね。



小霜：まあ、意味はわかるけどねと。わりかしこれもよくある表現かなと。僕も昔プレイステーションでよくやった。こんな風にプレイしても大丈夫、的なね。ただ、こういうことやるんだったら、理屈っぽくしなければまだあるかなって思うわけよ。前の方にいる奴が何故か全裸、みたいに奇妙なビジュアルにするとかで、それってどういう意味？ってなった時にコピーが乗っかってるっていう。たとえばどんなコピーだったら成立すると思う？この中に一人素っ裸の男がいると。

カパコ：人の目なんか気にしない。

小霜：それもこないだ言った卒業とか禁制と同じで違う意味を連想すると思うんだよね。自分の思うままに生きなさいとか。離れていっちゃう。

命の母：だってここ自宅ですから。

小霜：一応合ってはいる。でも、こう、もっと面白いことできない？面白っていう言い方はよくないな。

バクテリア：合法。

小霜：うーん。なんか理屈っぽいのが気になるわけよ。さっき言ったけど、エンターテインメントの広告なわけだから、パッと見て、楽しそう！気持ち良さそう！凄そう！なんかこう快感を覚えるのが大事だと思うわけね。合法って言葉に快感は無いのよ。そうでしょう？違法合法って聞いて、気持ちいい！と感じるのは相当法律マニアだと思うんだよね。だってここ自宅ですからって言葉にも僕はあまり快感を覚えなわけ。成立しているけども、もっといいのがあるんじゃないかなって。

バクテリア：全裸カモン。

全裸でも来ていいですよっていう。（笑）本当すみません

小霜：あ、そういうことか。ちょっとわかんないね。他には？

結婚相談所：自由すぎるだろう

小霜：あー。ちょっとまだ意味が伝わらないかな。

脇毛舐め：感じろ。

小霜：うーん。ダメだね。関係ないよね。裸の意味とね。

袋綴じ：脱いじゃった。

小霜：何で脱いじゃうの？

袋綴じ：興奮して。

小霜：それはわからないね。ライブ会場で興奮したら脱ぐ？脱がないよね。

おしめりおねえさん：Born to be free とか。

小霜：エンターテインメントの広告は気持ち良い・楽しい感じが伝わる事を大事にすべき。

例えば、「風呂上がりのライブもオツですなあ。」で書いてあったらどう？

この人は自宅で風呂から上がってオキュラス観てるんだなあ。てわかるよね。あとどんなスタイルでも観れるんだなともわかるよね。気持ち良さそうだなていう感じもあるじゃない。一例よ？

何が言いたいかって言うと、エンターテインメントの広告だから、気持ち良さそうだなあ。とかそういうことが伝わってくる言葉使いを大事にすべきだろうということ。キャッチフレーズに関して言うと。

カバコ：風呂よりあついぜ。

小霜：うーん。風呂のあつさとライブのあつさは違うものじゃない。対比にならないよね。

【講義録の表現案】



見るから、体験する時代へ。



小霜：これちょっと僕意味わからなかったんだけど、どういうことだろうか

講義録：崖があって、

小霜：崖？

講義録：はい、左側に...あ、消えていますね。自分が作った時にはあったんですけど消えてしまって...。

そこに崖があって、そこから人がどんどんライブ会場に没入してるっていうイメージを。小さいのがオキュラスを着けた人をイメージしてます。オキュラスを着けたら見にくくなってしまって。

小霜：まあでもこれはA'だね。前回のA案に人を増やしたただけだもんね。



講義録：これは、マンションだったり家一つ一つがライブ会場なんだよという。

小霜：でも写真はただの夜景だね。夜景を撮って、こういう風に言っても、多分意味は伝わらない。

我慢汁：窓の明かりで、ライブ中 とかって字が書いてあったらどうなんですか

小霜：どうということ？

我慢汁：点灯で字を書いて「ただいまライブ中」とか、明かりで字を書くというような。

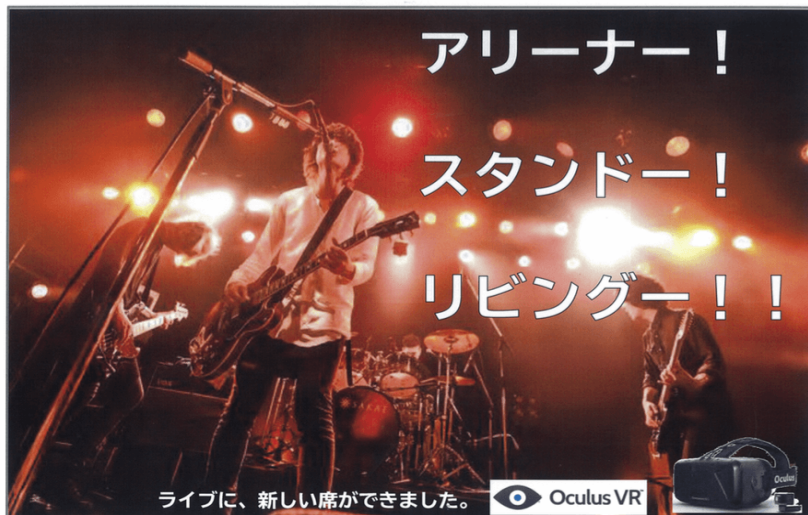
谷本：多分よく会社のビルとかで。

小霜：えーっと、それをやると・・・

我慢汁：さっきのパズルみたいな感じですか。

小霜：ビルの明かりで文字つくってというのは、その明かり一つ一つに意味があるんだっていう連想はきつとしないと思う。だから意味が伝わらないかな。いや、例えばこれ、もっと寄るとするじゃん。それで、窓にこのマークをぺたぺた貼っていくとかさ。そしたら意味はわかるかもね。あ、ここはオキュラスで楽しんでるんだな。ここもオキュラスで楽しんでるんだな。っていう、マークをぺたぺた貼って行ってさ、で、ライブ会場増加中 っていうたら、まだわからんでもないかなって気がする。

【裏口の表現案】



小霜：これちょっとある気が。ライブに新しい席ができましたっていうのは。ただ、スタンド席って言う？キャッチを少しよくすればもっとわかるかなって。スタンド席っていう言い方する？

バクテリア：言います。

小霜：だったらこれ、アリーナ席、スタンド席、リビング席 ってした方がいいね。

おしめりおねえさん：本当のライブだと、これとこれ（アリーナ、スタンド）はそのままよく言うんですけど、それでも「席」は付けた方がいいですか。

小霜：えっと、アリーナ席、スタンド席、リビング席、にした方がいい理由がわかる人？

ほげ：アリーナとかスタンドとかリビングが同じものだって伝わる。

小霜：それがひとつ。他には？

我慢汁：タグラインを見たときに、そういうことかって腑に落ちやすくなる。

小霜：腑に落ちやすい。なぜ？

我慢汁：こっち（タグライン）に「席」って入ってる。

小霜：うん。他に説明できる人。

ケツアゴ：リビング席ってという言葉を作るから。

小霜：そういうこと。あのね、新しい席できた。って言うときに、リビングっていても新しくはないわけよ。リビング席っていうと、新し感があるわけじゃない？アリーナ席スタンド席っていうのは普通に存在するものじゃん。で、普通に存在するものがあるから、リビング席っていう新しさが際立つっていう構造だよ。アリーナ席スタンド席、が無くただリビング席、だとちょっとわかんない。突然すぎるというか一瞬意味がわからない。でもアリーナ席スタンド席っていうのがあってリビング席って言ったら、意味がスムーズに入ってくるっていうことになるわけよね。で、新しい席ができた。リビング席という席ですという。は、あるんじゃないかなあ。



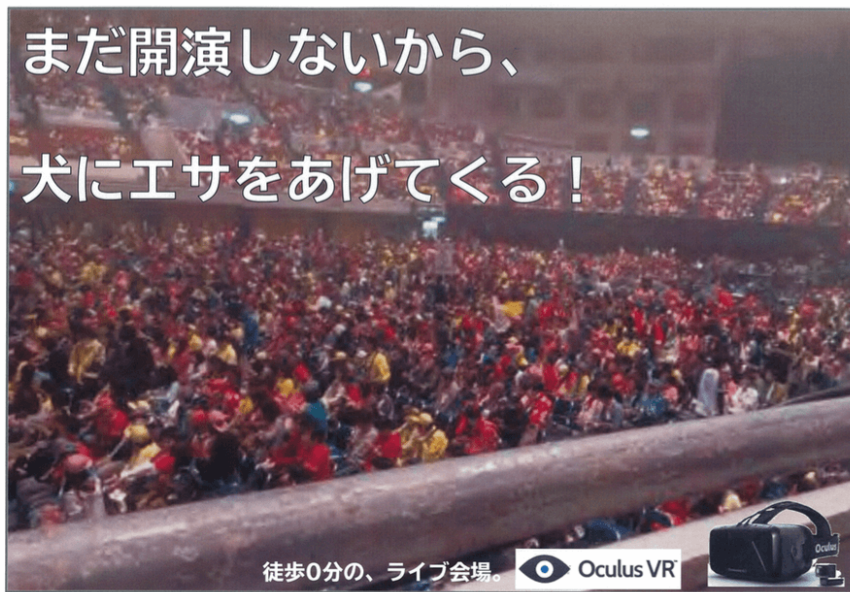
小霜：これはちょっと微妙かなあ。なんで微妙？

命の母：関係者目線があまり楽しくなさそう。

小霜：いや、そういうことじゃなく。それはそれで楽しいよ。関係者目線も。

結婚相談所：本質の目的ではない。

小霜：うーん。というか、こういうソフトは用意しないと思う。これで言ってるのは、あらゆる目線で楽しめるよってことなんだろうけど、おそらくそうはならないと思うんだよね。ある一定のポジションで、360度見回せるよっていうそういう売り方をするはずだから、こういうソフトはすごい未来には出るかもしれないけど、今は無いだろうなっていう。そういうことだね。



小霜：これどう思う？

カバコ：オキュラスは自分の好きな時に観れるものだから、開演自体関係無い。

小霜：だから？

カバコ：だからオキュラスのことだとわからない。

小霜：まあわかんないね。一言でいうと考えすぎてとこかな。考えすぎて、意味が瞬時に伝わらなくなっている。

我慢汁：これってストラテジーがもう違ってるんじゃないですかね。没入感じゃなくて。徒歩0分という。プロポジションが変わっちゃったのかな、ていう。

小霜：まあでもギリギリ離れてはないと思うけどね。ライブ会場を楽しめるよっていうことを言っているんで、徒歩0分ていうのは自宅にいながらライブが楽しめるよっていうわけだから、そこはストラテジーとそんなにズレていないと思うんだけど、でも自宅にいながら楽しめるよっていうことを表現するキャッチフレーズとしてはわかりにくいかなという。

【ケツアゴの表現案】

6/22

np広告学校



小霜：これどう思う？

結婚相談所：オキュラスを否定しちゃってる感じですかね。

小霜：逆にそういう風を感じちゃうんじゃないかと。

結婚相談所：ライブ動画がオキュラスだと思うんで。

小霜：まあ彼のねらいは、いわゆるテレビで見るようなライブ動画っていうのは実際ライブに行く没入感とは違うってことを言いたいんだと思うんだけど、そのところは実はあまりうまく伝わっていないということかな。あと兵隊出すってわりとよくある手法なんだよね。その新しさがあんまり...

カバコ：さっきの結婚相談所の指摘だと、「ライブ動画を見た」っていうのが、オキュラスを観たっていうことを感じられるんじゃないかっていう風におっしゃってたんですけど、オキュラスが体験するっていう方だということ言う為に、見たんじゃない。体験したんだ。っていう風に

小霜：それはこのシーンでは通用しないのよ。これは新兵を鍛えてるんだよね。新兵を鍛えてるっていう絵に言葉に乗ってるわけだ。だからこの人が説教しなきゃいけないわけよ。言葉としてね。体験したんだっていうのは説教ではないじゃない？だから成り立たないわけ。

カバコ：なんか言い合ってた、喧嘩してるのかと思いました

小霜：喧嘩じゃないのよ。例えばキューブリックのフルメタルジャケットとかあと、愛と青春の旅立ちとか、新兵を鍛えるのをモチーフにした映画がいくつかあるんだけど、そういう世界観に置いたって話だと思う。そうだよな？

ケツアゴ：そうです



小霜：これどう思う？

結婚相談所：パズルっぽいですかね。

小霜：パズルっぽい。うーん。他には？

講義録：説明がないとわかりづらくなっていう気がします。

小霜：うん。あのね、このキャッチフレーズの問題点が一箇所あるわけよ。

おしめりおねえさん：崩壊してない あ、してるか...

バクテリア：手を使って崩壊してるのが違うんじゃないかなって思いました。

小霜：うーんそういう細かい話ではなくって。

あのね、映像とリアルの間には壁があるよねっていう共通認識が無いじゃん。

こいつとこいつの間には壁があるよねっていうものいろいろあると思うんだよね。で、みんながそれを認識していたら、それが崩壊したっていったらわかると思うんだけど、映像とリアルに壁があるっていう、そういう認識が無いときに、壁崩壊っていても、よくわからない。ピンとこない。というふうになっちゃうわけよね。でも、こういうこと考える姿勢は俺良いと思うよ。なんか違う表現の仕方をしてやろうって思ってる姿勢のことは俺全然ダメって言うてるわけじゃないからね。結果として、うまくいってないよと言ってただけで、新しいことやろうとしてるプロセスが大事なんでね。

6/22

np広告学校



小霜：これどうだろう。どう思う？

我慢汁：部族にする必要はないのかなっていう。

小霜：まあそうだよね。

一同：（笑）

小霜：楽しそうだっていうのは伝わってくるわな。熱狂的とかすごい面白いものだろうなっていうのは伝わってくる。でも部族じゃなくていいよね、と。部族以外にふさわしいのなかったのっていうそういう話かな。

ケツアゴ：駅の中吊り広告だと、そういう部族とかの表現ってないなと思って、楽しそうってところから部族を発想したんですけど、他にそういう表現のものが無いので、広告として、目に引かれるものになるんじゃないかなと思ったんですけど。

小霜：多分ね、これがポスターだとするじゃない。これ見て、記憶に残るのは部族だよ。

なんか部族のポスターあったねえ、ていう記憶になっちゃうと思うんだよね。で、何故そうなっちゃうかっていったら、この商品と部族が離れちゃってるからそうなるんだよね。ちゃんとピタッと繋がっていると、商品と一緒に覚えてくれるわけよ。でも離れちゃっていると、商品が置き去りになっちゃって、なんか部族のポスター貼ってあったー、で終わっちゃう。だから、楽しい表現を目指すのは良いし、他にない目立つ表現やるっていうのはいいんだけど、最終的な目的を果たしてないとダメだっていうことよね。

【カワハギの表現案】



小霜：これちょっと意味わかんなかったんだけど、バンジージャンプだよね？

カワハギ：一応オキュラスリフトはライブを何回でも見れて、熱狂を何度でも感じられるっていうところを、バンジージャンプは落ちたり上がったり落ちたり上がったりっていうことだったんで、それと合わせて、一応水面の下をライブっていう風にしました

小霜：うーん、これこそパズルだね。君はわかっているそれだけ聞いてはじめてそうだったのかとわかる。だから何度も繰り返す言うけども、広告っていうのは瞬時のものだから。瞬時に伝わらないとダメなのよ。



小霜：これ意味教えてくれない？

カワハギ：観客から一番離れてる存在ってということで国外の、しかも動けないってということで、そういう人でもオキュラスを着ければライブに行けますよ、ということを表現したくて自由の女神を使いました。

小霜：でもこの人家に住んでないよ。

カワハギ：でも動かないので、自宅ということで

小霜：「私の家がライブ会場に」って誰が言ってんの？

カワハギ：一応、自由の女神が

小霜：そうでしょ？自由の女神が家に住んでんの？住んでないよね。だったらこのキャッチをどうしたらいい？

カバコ：台座の上が。

小霜：台座の上がライブ会場に？それはダメ。なんでわかる？

結婚相談所：台座を使ってる人はほとんどいないというか

小霜：うん、ていうかこれ自由の女神専用グッズじゃないでしょ。台座の上がライブ会場になって嬉しい人なんかいないよね。じゃどうすればいい？

命の母：着ければライブ会場。

小霜：うん。まあそれもあるね。

おしめりおねえさん：ライブ会場が来てくれる

小霜：それもあるかもね。他には

我慢汁：自分のいる場所がライブ会場になる。

小霜：もっと短くできない？

ケツアゴ：どこでもライブとか。

小霜：それだと自由の女神を使っている意味があんまり無いと思うんだよね。

カバコ：私でも楽しめる。

小霜：うん、単純な話さ、これ（「の家」）なけりゃいいんじゃないかっていう。「私がライブ会場に」、でいいわけよね。まあ、どんな人もその場でこれ着けさえすればライブ会場にいることになるんだっていう話でしょ？だからなんで「家」を付けたかっていうことなんだけど、いや、自宅で楽しめるよっていうことを言いたかったわけだよね。でも自宅で楽しめるよっていうことを言いたくて「家」をコピーに使うんだったらこのビジュアルは違う。何故ならこの人は家に住んでいないから。家に住んでいるモチーフを他に探すべき。

で、この人を使うんだったら家とかは取っちゃって私がライブ会場にって言っちゃえばまだ成立はするかなという。そんな感じ。

おしめりおねえさん：すみません、私もう一個出してたんですけど..この中に無かったんですけど、全部印刷してるんで講評だけしてもらってもいいですか？多分 A'かもしれないんですけど

小霜：ああ、いいよいいよ。じゃあ坂根に文句言っといて。

おしめりおねえさん：いえいえ、文句は言わないです大丈夫です



np.school 8期 小霜クラス③ 「Oculus Rift」表現

小霜：これはキャッチがよくない。理由は？

おしめりおねえさん：そのままだからですかね..

バクテリア：おぼれるっていう表現がマイナスだからちょっとこわいなって思いました。

小霜：ああ。他には？

我慢汁：ライブにおぼれるだと、これがライブで、そこでおぼれてる人っていうだけで、これがオキュラスリフトで見れるとかっていうことを言っているとわかんないかなって

小霜：うん。あのね、おぼれるっていう言葉は没入感を表現するのにふさわしくないと思うわけ。いや、おぼれるっていうのははまっちゃうっていう意味とかあるじゃない？恋におぼれるとかさ。ライブにおぼれるっていうのはライブにはまっちゃうっていう意味じゃん。そうだよ。ライブにおぼれるっていったらライブにはまっちゃえっていう話であって、実はオキュラスをつけてすごいライブ会場に没入した感じがするよということにはならない。言葉の選び方が間違っていると、僕は思うわけ。あとやっぱり A 案に近いよね、非常にね。

おしめりおねえさん：ありがとうございました

袋綴じ：言葉の選び方って、どれ位言葉に忠実にするのがいいですか？辞書とか引いて、語幹に正しいようにしたほうがいいのか、それとも皆が共有してるなんとなくのものを使ったほうがいいのか。

小霜：それは同じことよ。言葉の意味ってさ、こないだも言ったけど、文脈で違ってくるわけよね。なんていうの、カップルがいてね、僕が女で君が男とするじゃん？

袋綴じ：カップル..

一同：（笑）

小霜：そしたら、「バカ..」（小霜が袋綴じを肘でつく）って言ってるのを見て、罵ってるって思う？

袋綴じ：イチャついてる

小霜：そうだよね。それは共通認識があるからでしょ。

こういう時に「バカ」って言うのは罵ってるんじゃなくてイチャついてるんだっていう風に、みんなは思ってるわけよね。だから、皆がちゃんと共通認識してる言葉を使うのが、広告コピー。

辞書を引いても色んな意味が出てくるよね、①なんたら②なんたら～っていつてさ。で、そこっていうんじゃないくて、こういう文脈の時はこういう言葉を使うとみんなはこういう意味として受け取るよねっていう、そういうことを意識して選びましょうということ。

袋綴じ：ありがとうございます

小霜：広告は自分が感じるのではなく、みんながどう感じるかという事を意識することが大事。

話がそれちゃうかもしれないけど、僕高校のとき最も成績悪かったの国語なんだよね。

数学とかは常に満点とか取ってたんだけど、他も万遍なく良いんだけど、国語だけがね、点数すごい低かったわけよ。で、つい数年前に読んだドラゴン桜で、そうか～！と。現代国語っていうのは、自分の感覚を書くわけじゃないと。皆んながどう感じるかってことを書くものだって書いてあって、なるほどな！と思ったわけね。

俺は文章を読んで自分が感じたことを書くんだって思ってたわけ。そうするとペケなんだよね。広告も自分が感じるとかじゃなくて、普通の人、みんなはどう感じるか。みんなはどういう風に意味を受け取るかっていうことを意識しながら作らなきゃいけないという。そういう話。

他に質問ある人。

結婚相談所：今日はエンターテインメントの広告というところであって、見た瞬間にそれがわかるような楽しさというか、が伝わってくるものだとして非常に理解しました。でもエンタメじゃないもの、他の商品はいろいろあるじゃないですか。食べ物だとか。基本的にはそれはその商品の背景というか、例えば食べ物だったら美味しそうに見えないといけない。病院だったら安心できそうに見えないといけない。保険だったら頼りがい。っていうところはやっぱり根底にあるんでしょうか。

小霜：もちろんその通り。それが基本の型。言ったのは本当にその通りね。ただ、その型を逆にとるっていうやり方もあるかもしれない。むしろエンターテインメントの広告っていったらもう楽しい楽しいっていったるから逆に静かなことをやったら気になるんじゃないかな～みたいなことはあると思うわけよ。でも、基本の方を押さえとかないといけない。そこをちゃんとしっかり身に付けた上で、その型をうまいこと破っていくっていうね。でもそれはやっぱり達人の成せる技であって、達人にいくまではちゃんと型に忠実にやっという方が僕はいいと思う。

結婚相談所：最近型破りな達人の広告ってありましたか

小霜：あの一、CM でいうと DMM は結構チャレンジャブルだよ。山 P のね、爆安のスマホの CM とか長尺のやつとかチャレンジャブルなことやってるなって。記憶に残るしね。あと型破りでいうと、三井不動産、CM じゃないけど、タイムスリップ...

ほげ：堀部安兵衛ですか

小霜：堀部安兵衛ね。で、不動産会社が本来やるべきようなトンナマじゃないと思うんだけど、あえてそういうものにトライしたとかさ、型を破ってるねっていうのは探せばいくつもあると思うんだけどね。ただ、型を破って成功する事例っていうのは実はあまり多くなくて。やっぱりダメだったかみたいなのが多いうのも現実としてはあると。

結婚相談所：ありがとうございました

講義録：先ほどペプシがコーラに噛みついてる CM があるっていう話をされていたと思うんですけど、最近だったらソフトバンクが au と docomo に噛みついてる CM をよく見るんですけど、

小霜：例えばどういう？

講義録：桃太郎の CM を au がやったのに対して、SoftBank も同じように桃太郎の CM をしているのを見たことがあって。あとは、つながりとかシェア率をグラフでやって、D 社 A 社、SoftBank。で、SoftBank が一番という広告を見たことがあるんですけど、あれは小霜さんとしては良いのか。もし良いとしたら、どいう所が良いのか聞きたいです。

小霜：どうなんだろうねえ。いや、比較広告はいいと思うんだよ。SoftBank がつながりやすさナンバーワンという、そういうところをプッシュしてやってるっていうのも全然いいとおもうのよ。で、まあ桃太郎みたいなものをフィーチャーしてやってるのもいいと思う。僕ね、堺雅人を使った CM あったでしょ？バカはこわいですよ、みたいな。業界の権力者みたいなオッサンがいて、ソフトバンクが色々吠えてるけど

まあ言わせとけみたいなね。それはおそらく docomo を象徴してたと思うんだけど、好き嫌い言えば僕は好きじゃない。docomo は大人の汚いことをやっていて、それに立ち向かうクリーンな SoftBank みたいなことを見せてたわけだけでも。

あとやっぱり鬼もそうだけど、いかに上とはいえ自分の競争を悪いヤツみたいに描くのは好きじゃないというか。企画広告で言ったらペプシが昔から海外で展開してた CM が有名なんだけど、ウィットがあんのよ。例えばペプシの自動販売機とコークの自動販売機が並んでいると。そこで買おうとしてた奴の所に UFO が現れるみたいなね。で、UFO が吸い上げていくんだけど、ペプシの方だけ吸い上げていくとかさ。あるいは未来社会で未来の考古学者が発掘してるわけね。それでペプシ飲みながら発掘してて、「教授こんなもの出てきました！」で出てきたのがコークの瓶なんだよ。「こんなものは見たことがない！」っていうね。いや、その、けなしてるんだけどさ、笑えるじゃない。ウィットと、あとリスペクトを感じるよね。だからそういう広告はすごくいいし、ペプシのその一連のシリーズは比較広告のお手本みたいになってるんだけど、最近の日本でやってる比較広告はあまり俺は好きなものはないなって感じ。

講義録：ありがとうございます

脇毛舐め：ちょっと前、名古屋かどこかの鳩の駆除の web の動画が結構話題になったと思うんですけど、なかなか薄気味悪くて、これを流したら本当に売りが伸びるかどうかというところを僕は疑問に思っていたんですけど、認知度は広がったと思うんですね。ただ鳩の駆除っていうのが稀なシーンなのかなと思って。そういうシーンに出くわしたら、その薄気味悪さが印象に残ってるんで、連絡に至るのかなとも考えたんですけど、小霜さんはあれをご覧になってどう思われましたか。

小霜：いやいや参ったなと。ああいう表現はとても自分には考えられないんで、大したものだなと。でもしっかり印象に残したよね。しかも低予算で。そういう意味ではあっぱれなんじゃない？

脇毛舐め：印象に残したら勝ちっていう感じですかね。

小霜：うん。で、気味が悪いっていうけど、そこも苦情が来るような気味の悪さとは違うから、やっぱりギリギリ OK の範疇で作ってると思うんだよね。結構みんな楽しんだしさ。だから上手にやったなっていう風に僕は思ったけどね。

脇毛舐め：ありがとうございます

小霜：じゃあ、オキュラスはこれでおしまい。また新しい課題を出しますが、今日が 2 2 日だよな？それでその次の僕のクラスが 7 月 6 日だよな。この日は 19 時にここに集まってケータリングとってそれを食べながら、世の中のいろんな疑問に対して仮説を作るという会にする。

なんでみんなスマホをいじるのか。いや、ケータイに比べてスマホは会議中もいじる人多いしさ、歩きながらいじる人もいたりとか、なんかいじりたがるじゃない。それは一体何故だろうか。

おしめりおねえさん：癖になってるんじゃないですか

小霜：なぜ癖になってる？

おしめりおねえさん：間が空いてる、ぼーっとしてる状態っていうのがいま、多分あまりないと思うんですよ。電車乗ってても本読むかスマホいじるか何かしらしてて。で、画面的に触りやすいっていうのもケータイに比べてあると思うんですよ。そういう設計がされてるというか。

小霜：うん。あの一、これ正解は無いんだけど、僕の仮説はタバコの代わり。

僕も若い頃タバコ吸っててさ、打ち合わせの時いらいらするとタバコ吸ってたわけよね。それが今これ（スマホ）に変わってるんじゃないかなって気がするわけ。要するになんかこう、気持ちいいじゃない。ヌルヌル動いたりさ、クリックしたらパツと出るとか、反応が気持ちいいから、タバコの代わりにこれ（スマホ）やってね、イライラを沈めたり、そういうことをやってるんじゃないかなというのが僕の仮説なわけよね。広告クリエイティブをやるにおいて、大事なのって仮説をどう持つかなんだよね。これはこういうことなんじゃないかっていう。プレゼンテーションっていうのは仮説を提出するっていうことだからね。これはこういう風に考えようまくいくんじゃないかっていう。

だから、なんでもクロは40代に支持されるの？とかそういう仮説をみんなで考えて持ち寄る会にしたわけ。次は、で、ここドリームデザインという会社の会議室借りてるんだけど、ここの若い子も5人ぐらい参加したいって言うてるんで彼らも参加させて、みんなであるテーマを誰かが出したら、それに対して、自分は仮説としてこう考えるってことを言うていくという。そういう会を一回やりましょうと。

命の母：次の仮説を話す会は自分が普段色々思ってる、なぜこうなのかっていうのをいくつか持ってくる準備しておくっていう。

小霜：そうそう。それを6日に持ち寄るとのこと。

命の母：その前の提出はいらないですか

小霜：提出は必要ない。...あ、でも出してもらおうかなあ。ごめん、出してもらおう。仮説を出すんじゃないよ。テーマね。なぜこれはこうなのかっていうテーマを一人一案、あるいは二案ぐらいを僕にメールで送る。

命の母：その仮説は人間の根源的なことっていうよりはむしろ、現代感のあるもの、例えばスマホとか、そういう感じのものを？

小霜：そう。愛とか、無限ってどういうことみたいな、そういうことを考えてもね...。つまり昔の賢人達がかえて答え出ませんでしたみたいなことをやってもこれはあまりしょうがないから、わりかし今の、まあ現

代、この時代の中での。簡単に言うと、僕らの仕事の肥やしになるような、そういうものがふさわしいよね。

結婚相談所：例えば、なぜさおだけ屋は潰れないのか。ていうのは合いますか。

小霜：それは合わない。だって答え出てるからさ。

結婚相談所：ですよ。そういう系の、突き詰めればわかっちゃいそうなものはダメということですね。正解の無いものがないということですね

小霜：うん。正解の無いものがないということ。

カパコ：そういう疑問とかテーマとかって、どういう風に考える取っ掛かりを考えればいいですか。

小霜：なんだろうねえ。でもそんなに構えずに、あの一、もっと言うとき、これって不思議だなんていうものをたくさん持つことが大事なのよ。なんでみんな朝起きたら顔洗うのとかさ。そんなんでもいいと思うんだよ。なんでみんな朝顔洗うの？

バクテリア：化粧のノリが良くなるからです。

小霜：それは女性の話だよ。男も顔洗うよね。

カパコ：目を覚ましたいから。

小霜：眠たいのをシャキッとさせたいということね。他には。

おしめりおねえさん：そういう風に育てられたから。当たり前のこととして。

小霜：習慣としてね。他には。

命の母：べたべたしてて気持ちが悪いから。

小霜：なんで朝やる必要があるの？

命の母：寝てる間にあぶらが...

小霜：そういうことね。他には

バクテリア：気持ちを切り替えるため。

小霜：はい。あの一、これ色んな仮説があるわけだけど、今言ったことって、仕事で役に立つわけよ。

つまりね、なんで洗顔するのかっていうことが眠気覚ましたとするなら、眠気の取れるような洗顔料開発してもいいよね。気持ちを切り替えるっていうならシャキッとすするミントのにするとかさ。あぶらが気持ち悪いからっていうなら、あぶらを落とすような洗顔料は売れるかもしれない。あるいはそういったものが全部入ってるような洗顔料があった時にコミュニケーションでどう正していくかという。これは、そういうプレゼンをするわけだけどまさに仮説なんだよね。この仮説だったらうまくいく可能性が高いですよってことをプレゼンテーションでやってるわけよ。だから、江戸時代の洗顔のことを考えても役に立たないけど、いま自分たちの身の回りにある事で、なんでこれはこうなんだろうか、というものをいくつも持っておいて、それに対し自分の仮説をいっぱい持つておくことは自分にとって非常に有益なんだよね。これは本当に構えないで探せばいいんじゃないかなと思う。

命の母：何個くらいで提出すればいいでしょうか。

小霜：1個か2個でいいよ。

ケツアゴ：そのテーマを選んだ理由とかも付けた方がいいですか

小霜：付けなくてもいいし、付けてもいい。付けた方が意図がわかるかなと思えば付けばいいし。

一同：ありがとうございました。